

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●第28回ネットワークソフトウェア研究会

委員長 菊間一宏（日大）

研究会の内容

ネットワークシステム研専配下の第二種研究会であり、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について議論をします。本研究会では、企業・大学における研究・教育上の課題のみならず、製品開発や保守運用上の課題など、研究から実用化までを通した幅広い課題を対象として解決法を探ります。

期日 2022年6月9日（木）、10日（金）

会場 札幌国際ビル貸会議室 A会議室（札幌市）

※現地・オンライン同時開催を予定しておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、本研究会は会場変更やオンライン開催のみとなる可能性があります。最新の状況は募集案内を御確認下さい。

募集案内：<http://www.ieice.org/cs/ns/nws/28/announce/>

テーマ：データ流通・データ共有のためのネットワークソフトウェア技術＋一般

概要

スマートフォンの普及に伴い、個人的なアクティビティを共有することにより仮想空間上で人間関係を構築する Social networking service (SNS) の利用が一般的になっています。また、Internet of Things (IoT) や Artificial Intelligence (AI) といった、物理空間での事象をデジタル化する技術も実用的になってきています。このような社会的・技術的变化により、ヒト・モノ・コトのデータ化が加速しています。以上のような背景から、新規の研究テーマや事業テーマとして、データの流通や共有をもとにした価値創造に注目が集まっております。本研究会では、データ流通やデータ共有に必要なネットワークソフトウェア技術について、幅広く課題や研究アプローチに関する発表を募り、議論を行います。

【本研究会の特徴】

参加者の産学のバランスがよく、更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので、発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます。また、他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議論して頂けます。

また、本研究会では、議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています。有意義なディスカッションを頂きました参加者が受賞対象となります。是非活発な議論をお願い致します。

【発表形式】 下記2種類の発表形式からお選び下さい。

- ・一般講演：掘り下げた議論を御希望の方向け

1件あたり標準で50分。発表者からのプレゼンテーションは20～25分以内とし、残りの時間を質疑応答に割り当てることで、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。

- ・ポジションペーパー：構想段階などにて意見を収集したい方向け

1件あたり標準で20分。発表者からのプレゼンテーションは5～10分以内とし、残りの時間を質疑応答に割り当てます。一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

【各種締切】

一般講演申込：5月9日（月）

ポジションペーパー講演申込：5月9日（月）

研究会参加申込：5月20日（金）

原稿提出：5月27日（金）

参加費振込：6月1日（水）

【参加費（予定）】

一般・学生：¥3,000

【講演・参加申込方法・原稿提出方法】 下記ウェブページを参照下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/nws/28/announce/>

【講演・参加申込先・原稿提出先】

風戸雄太（NTT）

〒180-8585 武蔵野市緑町 3-9-11
TEL [0422] 59-6754
E-mail : ns-nws-secretariat@mail.ieice.org

【研究会全般に関する問合せ先】

谷田康司 (NTT)
TEL [0422] 59-4833

主催 ネットワークソフトウェア研究会運営委員会
<http://www.ieice.org/cs/ns/nws/>

●第 35 回 回路とシステムワークショップ論文募集案内

第 35 回 回路とシステムワークショップ実行委員長 小中英嗣 (名城大)

第 35 回「回路とシステムワークショップ」を 2022 年 8 月 19 (金), 20 日 (土) に福岡北九州国際会議場及びオンラインで開催致します。本ワークショップは、回路とシステムに関連した分野の研究者や技術者が集い、招待論文や投稿論文、パネル討論を通じて、分野内だけでなく分野間にまたがる境界領域の課題解決と将来の研究分野の探求を目的としています。皆様からの積極的な論文投稿をお願いします。

期日 2022 年 8 月 19 日 (金), 20 日 (土)

会場 北九州国際会議場 (北九州市小倉北区浅野 3 丁目 9-30)

※コロナウィルスの感染拡大状況によっては、開催形態を変更する可能性があります

Web ページ : 企画セッションなど最新の情報は、次の Web ページを御覧ください。

<https://www.ieice.org/ess/kws/>

投稿分野 : 本ワークショップでは、次の分野に関する一般論文, Work In Progress (WIP) 論文の投稿を歓迎します。

- ・回路と数値解析 : 回路理論, モデリングとシミュレーション, 各種フィルタ, アナログ・デジタル回路, A/D・D/A 変換回路, 電子回路応用, ニューラルネットワーク, 制御理論, パワーデバイス・マネジメントシステム, コネクティビティ, メモリ, MEMS と回路の統合設計, IoT, センサ回路, エナジーハーベスタ
 - ・デジタル信号処理 : 基礎信号処理, デジタルフィルタ設計, 適応信号処理, グラフ信号処理, 非線形信号処理, 音声・音響信号処理, 画像・映像処理, レーダ信号処理, 通信信号処理, システム実現技術, セキュリティ技術, 生体信号処理, 信号処理の応用技術
 - ・VLSI 設計技術 : 設計環境・ツール, 組込みシステム, リコンフィギュラブルシステム, マルチコア・メニーコア設計, ソフトウェア/ハードウェア協調設計, システムレベル設計, IP ベース設計, 高位合成, 論理合成・検証, レイアウト設計・検証, 3D-IC, アナログ CAD, タイミング解析, テスト・診断, 低消費電力設計, Approximate Computing, Stochastic Computing, Analog Computing, 高信頼性設計, ハードウェアセキュリティ, DFM, リソグラフィ CAD, バイオチップ設計, 設計事例
 - ・システム理論 : グラフ・ネットワーク理論, 数値最適化, アルゴリズム論, ベトリネットと離散事象システム, ハイブリッドシステム, 並列・並行・分散処理, システムバイオロジー, 形式仕様記述, スケジューリング, 機械学習の理論と応用, システム開発事例, プロセスマイニング
- 以下の特別テーマに関する論文投稿を歓迎します。

SDGs, 適応信号処理, ソサイエティ 5.0 に向けたコンピューティング技術, DX で変わる回路とシステム

投稿申し込み :

(a) 一般論文 : 邦文または英文の論文を Web ページより電子的に御投稿下さい (詳細は Web ページを御参照下さい)。ただし、査読のある論文誌などに発表されたものは対象外とします。図面を含み A4 判 3~6 ページ (形式自由) で御執筆下さい。執筆要項は Web ページに掲載されています。なお、論文集原稿も 6 ページ以内となりますので御配慮下さい。また、発表は口頭発表となります。

(b) WIP 論文 : 邦文または英文の論文もしくはそれを的確に要約した抄録を Web ページより電子的に御投稿下さい。図面を含み A4 判 2 ページ (形式自由) で御執筆下さい。論文は、構想段階の研究, 問題提起などを含めた様々な研究を積極的に採用し、参加者間の議論の場の提供を目的としています。研究の完成・未完成を問わず、広く論文を募集します。採録の場合、論文集原稿は上限 6 ページまで拡張可能です。また、発表はポスター発表となります。

査読の上、下記期日までに採否通知を行います。電子投稿が不可能な場合は、下記連絡先まで御連絡下さい。

【連絡先】

藤枝 大 (論文担当幹事)

〒335-8510 蕨市中央 1-16-8 OKI システムセンター新棟 5 階 沖電気工業(株)イノベーション推進センター
TEL [048]-431-5489, FAX [048]-420-7076
E-mail : kws-35paper@mail.ieice.org

日程 :

投稿締切 2022年4月14日(木)

採否通知 2022年6月13日(月)頃

論文集原稿締切 2022年7月4日(月) 必着

備考:

本ワークショップ開催後に、電子情報通信学会論文誌Aにて「回路とシステム小特集号」が企画されています。

新型コロナウイルスの影響により、開催形態変更の可能性があります。

主催 基礎・境界ソサイエティ：システムと信号処理サブソサイエティ、回路とシステム研究専門委員会、VLSI設計技術研究専門委員会、信号処理研究専門委員会、システム数理と応用研究専門委員会

協賛 非線形問題研究専門委員会、スマートインフォメディアシステム研究専門委員会、電気学会・電子回路研究専門委員会、IEEE Circuits and Systems Society, Japan Joint Chapter, IEEE Circuits and Systems Society, Fukuoka Chapter, IEEE Signal Processing Society, Tokyo Joint Chapter, IEEE Council on Electronic Design Automation, All Japan Joint Chapter

●第78回機能集積情報システム研究会

委員長 市原英行(広島市大)

副委員長 難波一輝(千葉大)

本研究会は、電子情報通信学会・ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します。本研究会は、平成3年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降、複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました。

近年のLSI製造技術の進歩により、大規模かつ斬新な情報処理機能を、シリコン・ウェーハやVLSI, 3D IC(three-dimensional integrated circuit)上に集積・実装する情報システムFIIS(Functional Integrated Information System)の構築技術が注目されています。本研究会では、次に示すFIIS構築に関する幅広い研究分野を対象としています。

- ・情報システム設計に関する技術：誤り訂正・回復技術, SoC(System-on-chip)やNoC(Network-on-Chip)などの耐故障・再構成可能システムの構築技術, 低消費電力技術, 機械学習を用いた情報システム設計法, 近似・確率計算を用いたシステム設計法
- ・LSI製造に関する技術：LSI故障・欠陥検出法(テスト手法, テスト容易化設計法), チップの歩留まり解析, 歩留まり向上設計法, レイアウト設計・解析手法, 故障モデルの解析, 信頼度解析, 性能評価などの理論的解析手法

本機能集積情報システム(FIIS)研究会は、上述したような技術を、応用分野の枠を超えた高性能・高信頼・低消費電力な機能集積情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています。本研究会では上記内容を中心としていますが、それらにとらわれず、各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します。

今回の第78回機能集積情報システム研究会では下記要領で一般発表を募集致しますので、多数の申し込みをお待ちしております。

期日 2022年6月17日(金) 13:00~(開始時間は予定)

会場 千葉大学/オンライン(ハイブリッド型・予定)

※詳細は<https://www.ieice.org/~fiis/cfp.html>

一般申込締切 2022年4月11日(月)

発表を希望される方は、論文題目、著者、所属、連絡先、発表予定者を下記幹事までお知らせ下さい。折り返し御発表の可否について御連絡致します。

【申込・問合せ先】

三浦康之(湘南工科大工学部情報工学科)

E-mail: miu@info.shonan-it.ac.jp

主催 ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会